

三

官乙 一二

昭和三八年四月八日

内閣事務官

三四九

通牒

内閣書記官

内閣書記官

内閣事務官

通牒

通牒

昭和三八年四月九日

案(一)

法制局長官

内閣書記官長

賞勲局總裁
遞信院次長

宛(各通)

戰爭調查會事務局長官
戰災復興院次長

天皇皇后皇太子陛下御寫眞，取扱
関シ別紙，通宮内次官ヨリ申越有之候條可燃御配意
相成度及移牒候

昭和三 年四月九日 案(一)

内閣官房人事、會計各課長
内閣官房 内閣審議室
内閣事務官
内閣恩給、統計各局長
内閣總理大臣祕書官
國務大臣祕書官

宛(各通)

案(一) 同じ

(但シ末尾ヲ「依命及移牒候」トス)

宮内

大

金

益

次

郎

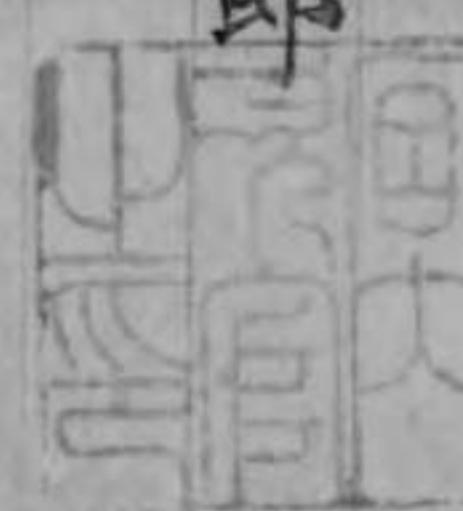
六

六

昭和二十一年四月五日

宮内次官大金益次郎

内閣書記官長 橋橋 渡殿



二號算帳

天皇皇后皇太后三陛下並皇太子殿下御寫眞、取
扱閑シテハ爾今別紙要綱ニ依ルコト、相成候條御
諒知相成度貴廳所管各關係、向ニ各之通牒
相成度候

追テ新ラシキ御寫眞、下賜ニ付テハ別途通
牒致スベクモ相當期間有之モ、ト御承知相成度

御寫眞取扱要綱

天皇陛下、御寫眞ハ國民ガ、日本國ノ元首、國民大家族、慈父トシテ深キ敬愛ノ念ヲ以テ仰ギ奉ルベキモノトス

一、御寫眞ニ對スル拜禮ハ之ヲ強ヒサルコト

二、御寫眞、奉掲

官衙、學校其ノ他ニ於テ御寫眞ヲ奉掲スル場合ニ於テハ
(1) 日常御姿ヲ仰ゲニ適當ナル場所ニ奉掲スルモノトシ帷帳ヲ垂ルル等、設備ヲ要セズ唯ダ其ノ場所ヲ清淨ナラシムルコトニ心懸ケベク奉安殿、奉安庫等ニ平常奉納スルガ如キコトハ之ヲ避ケルコト

(2) 御寫眞、大サハ奉掲スル場所ニ應ジ自由ニ選擇シ得ベク必要ニヨリ數種、御寫眞ヲ併セ奉掲シ得ルハ勿論他ノ

一般、肖像寫眞等ト共ニ奉掲スルモ妨ゲナシ

三、御寫眞、下賜

(イ) 官衙、學校其、他團體及個人ニシテ御寫眞、奉戴ヲ希望スル向ハ其、下賜ヲ宮内省ニ願出ヅルコトヲ得

(ロ) 宮内省ヨリ下賜セラルベキ御寫眞、種類及型ハ特定セラル

四、御寫眞、領布

下賜以外、御寫眞ニシテ宮内省が原版ニ有スルモノニ付希望アルトキハ左、條項ニ依リ其、希望ニ應ズ

(イ) 當該御寫眞、複製(印画、印刷)ハ宮内省、許可ヲ得テ之ヲ發賣領布スルコトヲ得

(ロ) 當該御寫眞、複製(印画、印刷)ハ發賣領布セントスル者ハ宮内省ニ該御寫眞、貸下ヲ願出ヅルモノトス

(ハ) 領布、發賣スヘキ御寫眞、様式形狀等ハ宮内省、承認ヲ得

ルコト

五、皇后陛下、皇太后陛下、皇太子殿下、御寫眞取扱ニ付テモ右ニ準スルコト